

大学宗教主任 藤原 淳賀

西谷幸介先生の定年退職にあたり、一言感謝の言葉を申し上げます。

神学的なことを申し上げますと、西谷先生の東京神学大学時代の指導教授、大木英夫先生は、私の前任校、聖学院大学総合研究所・所長でいらしたので、西谷先生が書かれたものを見ます時に、その神学的関心事に共通性を感じます。いつも興味深く読ませていただいていた。また青山学院大学に関して申し上げますと、先生が茂牧人先生と共に総合研究所の研究プロジェクトとしてまとめられました『21世紀の信と知のために：キリスト教大学の学問論』はとても重要なものだと思っています。「青山学院の教育は、永久にキリスト教の信仰に基づいて、行われなければならない。」という「学校法人青山学院寄付行為」四条一項（1951年制定）について西谷先生は詳しく論じておられます（18頁）。また先生は常に教会の働きを重んじておられました。知を支える信として、そのことは非常に重要なことだと思っています。信仰的な事柄と学術的な事柄の両方を、ティリッヒ的に言いますならば、「境界線上に立って」歩んでこられたその遺産^{レガシー}を大切にしたいと思っています。また2017年度のサマーカレッジでは、先生と共に宗教主任たちでバンドを結成し学生たちの前でサプライズ演奏をしました。先生はアコースティック・ギターを弾かれました。これはとても楽しい思い出でした。ご退職を寂しく思いつつ、感謝と共に。